

2020年2月20日

グループ会社の戸上コントロール社員が佐賀新聞で紹介されました

林さん 善意の1120万円

佐賀整肢学園や佐賀善意銀行などに寄付した林芳広さん
 佐賀市久保泉町の戸上コントロール



佐賀市 支援の輪を広げたい。佐賀市西田代の会社員林芳広さん(53)が、佐賀整肢学園や佐賀善意銀行など四つの施設や団体に、給料の中から1千万円以上を寄付した。脳出血のために左半身まひになった林さんは「私の行動が支援の気持ちが広がるきっかけになれば」とほほえむ。

佐賀整肢学園など支援

自身の療養経て「できることを」

2018年12月から20年1月までの1年余りに、合計で約1120万円を贈った。同市久保泉町の戸上コントロールで働く林さんは、11年に作業中に倒れて入院した。同社社員の「何年でも待つからリハビリに専念して」との言葉や、母親の献身的なサポートにより、1年半のリハビリを経て職場に復帰した。

倒れる前までは、自分のことばかり優先させてきたという。生きる意味を見つめ直し、「頑張っている人や子どもたちのためにできることをしたい」と常々思っていたとき、佐賀善意銀行の記事を新聞で読み、寄付を思いついた。

当初、500万円で終えるつもりだったが、佐賀整肢学園で出会った9歳の男児の姿に心を打たれ、1千万円を超える寄付をしようとした。川原保育所やひとり親家庭をサポートする「スマイルキッズ」にも寄付をしている。

「寄付は特別なことではなく、人生で今したいことだった」と話す林さん。母親や職場の同僚たちに感謝しながら「今は幸せ」と笑顔で語った。

(中島佑子)

※2020年2月17日付け佐賀新聞掲載